

づくり”を目指して

小林町政 2期目始動!

8月11日(日)に行われた富士見町長選挙において、2回目の当選を果たした小林一彦町長が、8月29日(木)町民の皆さんや役場職員に迎えられて初登庁しました。小林町政二期目のスタートです。



●はじめに
このたび2期目4年間の町政を
担当させていただくことになりまし
た。

1期目で進めてきた多くの政策
が町民の皆様のご支援、ご指導と
職員からの支援のもと、順調に進
み成果が出始めています。心から

皆様に感謝するとともに、2期目
は更に明るい未来の町づくりに向
けて皆様と共に全力を尽くす所存
であります。

引き続きご尽力を賜りますよう、
よろしくお願ひいたします。

●1期目の4年間を
振り返つて
私は45年間、富士見町を留守に
していました。落丁傘町長として
当初、大きな不安と期待の入り混
じるそんな中、町民の皆様の鋭い
視線を浴びていると感じていま
した。

私が一番心がけていたことは、
富士見町民の皆様と広く、深く、
より多くの人々と交流し、町民の
皆様の目線を持ち、気持ちや考え
を理解することでした。

前町政も苦しい中、しっかりと
財政健全化を進め、協働の精神で
町づくりを行ったと思いました。
一方で世界の変化や、日本の変化
に取り残される部分も大きく、
「継続と改革」を政策理念として
掲げ、多くのテーマに全力で取り
組みました。

その結果、町民の皆様からの大
きなご支援、ご鞭撻と職員からの
支援のおかげで、より良い「町づ
くり」が進んできたと思っていま
す。

“町民が主役の町”



高原を彩る花の里



若者でにぎわうスキー場



一本松の家



外国人と日本人教師による
英語の授業風景

●富士見町の目指すべき方向と 二期目の重点課題

1期目で実行している子育て支援の充実、教育の町・富士見の実現、元気で長生きをするための様々な施策、安心感のある高齢者サービス、富士見パノラマリゾート・富士見高原リゾートと第3のシナリオによる観光の増強、財政の足かせとなつてはいるパノラマや土地開発公社の借金を速やかにゼロとする施策等、1期目の政策を実らせます。また、富士見町で生まれ育った若者が都会へ転出しても、何れ富士見町に住み、富士見町で仕事が持てる環境整備を、国の支援を受けて実現したいと思っています。

そして、もつと若者を呼び込み、「若い力のある町づくり」を行い、人口減少を食い止めます。

また、過疎化の進む地域を「明るさを取り戻せる地域」へ変える施策の第一歩を踏み出し、地域全体のバランスが取れた富士見町の発展を目指します。

●町民の皆様へ

私が持つている「気力」「体力」「知力」の全てを使い尽くし、富士見町の明るい未来づくりに全力投球させていただきます。

リーダーシップや行動力、そして決断力を發揮しますが、常に「町民の皆様の声と気持ち」に耳を傾け、町全体のチームワークで町政を運営して行きます。

今後も皆様とともに、「明るい未来のある富士見町づくり」にまい進したいと思いますので、引き続きご支援、ご指導をお願いいたします。